

Ⅲ

国内農業生産による供給について

国内農業生産だけで昭和20年代後半の水準の1人1日当たり2,020kcalの供給が可能

平成17年3月に閣議決定された「食料・農業・農村基本計画」の中で示された平成27年度に見込まれる農地面積、農業技術水準のもとで、生産転換などによって、国内の農業で供給できるカロリーがどれほどかを試算し、それを食事メニュー例としてまとめました。

試算によると、現在の食生活からは変わりますが、1人1日当たり2,020kcalと昭和20年代後半の水準のカロリー供給が可能との結果になっています。

国内生産のみで2,020kcal供給する場合の一日の食事のメニュー例

朝食				+	2日に1杯 	
	昼食					2日に1杯
		夕食				
調味料 (1日分) 砂糖小さじ6杯、油脂小さじ0.6杯				6日に1コップ 		
				7日に1個 		
				9日に1食 		

(参考) 昭和20年代等の供給熱量 (kcal/人・日)

昭和	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年
	1,852	1,927	1,945	1,858	1,995	1,933	1,951	2,217

PFCバランス

P:12 (13)、F:10 (29)、C:78 (58)

※ () 内は平成15年度の値

※PFCバランス：食生活におけるたん白質(P)、脂質(F)、炭水化物(C)の比率